

1 しながわ防災学校



- 防災区民組織、事業所、区民を対象として、5つのコースを開講しています。
- さまざまな講義や体験を通じて、防災に関する知識や技術を習得し、しながわの地域防災力を向上させる人材として「しながわ防災リーダー」を育成します。
- しながわ防災学校ホームページでは、一部講座の募集やコラムを掲載しています。

防災区民組織コース

「しながわ防災リーダー」として、日頃より自ら率先して行動できる人材を育成



地域防災ベーシックコース

対象：防災区民組織に所属している方
または 18 歳以上の区民の方
時期：6～7 月頃

内容

- 災害がもたらす被害や対応・対策の基礎
- 地域で取り組む応急対策
- 地域で取り組む予防対策

地域防災ステップアップコース

対象：地域防災ベーシックコースを修了した方
時期：6～7 月頃

内容

- 防災区民組織として取り組む応急対策
- 地域で取り組む被災者支援
- 地域防災リーダーとしての役割

事業所コース

事業所として日頃から災害に備え、発災時は事業所の一員として災害対策を実施することができる人材を育成



基礎編

対象：これから防災に力を入れる事業所
時期：7～8 月頃

応用編

対象：区内事業所
時期：実施事業者と調整

応用編

対象：BCP（事業継続計画）の策定を検討している、もしくは策定中の事業者
時期：7～8 月頃

家庭・区民コース

自分と家族の身を守り、地域と協力して行動できる人材を育成

小学生向けコース

対象：区内在住・在学の小学 3～6 年生

一般向けコース

対象：中学生以上の区民の方
時期：9～11 月頃



地域実践コース

防災区民組織が活動にするにあたって必要な知識を取得するために、講師が地域に出張して、地域の実情に応じた研修を実施

対象：区内の防災区民組織
 時期：6～3月



メニュー一覧

災害による被害や影響と備えの基本を学ぶ

- 1 地域の災害を知る（地震・風水害） ……1 時間
- 2 首都直下地震に備える ……1.5 時間
- 3 大雨や台風による浸水害からの避難と備え ……1.5 時間

居住特性や地域特性に応じた防災対策について学ぶ

- 4 マンションの防災対策 ……1.5 時間
- 5 木造密集地域の防災対策 ……1.5 時間
- 6 津波避難ワークショップ ……1.5 時間

これから防災活動を始める

- 7 地域の防災活動を始めるための基礎研修 ……2 時間
- 8 防災の視点から見た地域の強み・弱みマップづくり ……2.5 時間

災害対応について学び、必要なスキルについて身につける

- 9 被災者の実体験から災害対応を学ぶ ……2 時間
- 10 地域の安否確認ルールづくり ……2.5 時間
- 11 避難行動要支援者避難誘導ワークショップ（基礎編） ……2.5 時間 ← P.51
- 12 避難行動要支援者避難誘導ワークショップ（実践編） ……3 時間 ← P.52

避難所運営について学ぶ

- 13 避難所開設・運営イメージゲーム ……2.5 時間 ← P.64
- 14 避難所運営ルールの検討 ……3 時間



防災カフェ

大規模災害時に発生するさまざまな課題をテーマとして、人同士のつながりを作る

対象：パパ・ママの立場で考える防災、ペットの防災対策、女性と防災など、具体的な課題に関心のある区民の方
 時期：テーマごとに随時



2 しながわ防災体験館



- 日頃からの備えや、災害が発生した時の対応を習得するため、さまざまな訓練を体験形式で学習できる施設です。
- 防災展示、初期消火、応急救護、要配慮者避難誘導、避難姿勢、防災体験 VR、シアター・ワークショップルームの7つの体験ブースがあります。
- 地域の防災訓練にぜひご利用ください。
- 団体利用の場合は必ず事前予約をしてください。
- 個人でのご利用の場合は基本的に予約不要ですが、大きな団体の利用が入っていることもありますので、事前にお電話で確認していただくと確実です。



しながわ防災体験館ご利用の流れ

※団体利用の場合

1 電話で仮予約をする

- まずは電話で仮予約をします。電話にて希望する時間帯および体験内容を伝えてください。
- 実施希望日の5カ月前から2週間前まで予約を受け付けます。
(区外の団体の場合、3カ月前から2週間前)

2 申込用紙を提出する

- 区HPから体験申込用紙をダウンロードしてください。
- FAXで提出してください。

体験申込用紙の記入方法は [P.82](#) へ

3 来館する

- 申し込んだ日時に、しながわ防災体験館へ来館し、受付で団体名および氏名を伝えてください。



品川区防災課キャラクター
ジージョくん

ご利用のご案内

所在地 : 品川区広町 2-1-36 (品川区防災センター 2階)
交通 : JR線・東急線・りんかい線 大井町駅徒歩8分
: 東急大井町線 下神明駅徒歩5分
開館時間 : 9時～17時
休館日 : 月曜・土曜・祝日・年末年始

03-5742-9098

初期消火体験



消火器やスタンドパイプ、屋内消火栓を使った消火を体験できる。

要配慮者避難誘導体験



高齢者や障害者など要配慮者の避難誘導の対応や、装具を身に付けて、要配慮者の疑似体験ができる。

防災体験 VR



最新の技術を活用した防災体験 VR で、災害時の様相をよりリアルに体験できる。



シアター/ワークショップルーム



防災に関する映像の上映や、ワークショップができる。
※ワークショップは予約制

防災展示



区内の地域ごとの防災上の課題や取組、災害時に役立つ防災用品などについて学習できる。

応急救護体験



人形を使用した心肺蘇生法や、AED装置の取扱い体験ができる。また、応急手当の方法を紹介している。

避難姿勢体験



建物の中の火災で煙が充満した時、煙に巻き込まれないための正しい避難姿勢を体験できる。

3 貸し出し資器材など

- 防災課では、訓練の実施に必要な資器材の貸し出しや、炊き出し訓練や啓発品として配布していただくため、賞味期限の近くなった備蓄食糧を提供しています。
- 事前にお電話にてご相談ください。
- 区役所まで引き取りにきていただく必要があります。運搬に必要な車両および人員の確保の上、お越しく下さい。 ※防災訓練以外の目的での貸し出しは行っていません

貸し出し資器材

物品名	仕様	備考
訓練用AED	訓練用人形付き	
訓練用水消火器		
炊き出しセット(小)	100食炊き出し用	鍋・バーナーがセットになっています。その他、炊き出しの際に必要な道具があれば、あわせてご相談ください。
炊き出しセット(大)	200食炊き出し用	
本部用テント(小)	3m×3m(4本足)	固定のため、足1つにつきおもり1つ貸し出し (例)テント大→おもり6つ
本部用テント(大)	3m×6m(6本足)	
発電機(小)	96W	(使用例)炊き出し等
発電機(中)	120W	(使用例)投光器等
模擬消火栓		
訓練用人形	身長160cm 重さ30kg	

提供可能な備蓄食糧

物品名	備考
アルファ化米(白飯)	1箱50食
アルファ化米(五目)	1箱50食
アルファ化米(わかめ)	1箱50食
ビスケット	1箱60食
飲料水(1.5L)	1箱8本



資器材借用申請書は P.83 へ
備蓄食糧提供依頼は P.84 へ



貸し出し DVD

- 訓練や勉強会で上映するための DVD を貸し出ししています。
- 貸し出しは 1 回につき 3 本まで、期間は一週間です。
- 防災課窓口にて申し込んでください。

タイトル (サブタイトル)	時間	製作年	内容
地震！その時あなたは	15分	1994	小学生を主人公とした発災時の行動と日頃からの家族で取り組むべき内容を学ぶ啓発内容です。
希望 (のぞみ)	24分	1994	避難所での生活を基に防災区民組織の重要性を学び、地域のつながりの重要性を感じましょう。
地震に備えて わが家の危機管理 (日頃の対策と心構え)	15分	2004	家具転倒を中心に、日頃からの備えの重要性を実例を通して考えましょう。
地域で減災！ (あなたが力 みんなが力)	24分	2008	災害が発生した時、「自助」・「共助」の重要性と事例の紹介を含めた内容です。
地震だ！その時どうする？ (自分を守り、みんなで助け合おう。)	18分	2009	いざというときの行動と共助の重要性を具体的な方法の中から学習していく内容です。
家具等の転倒防止対策 ふせごう (今すぐできる！家庭防災)	21分	2009	家具転倒について、実際に使用する器具ごとに場所・方法など具体的に家具転倒について学べる内容です。
津波から生き延びるために (知る・行動する)	15分	2010	津波から身を守るための知識や行動の仕方を学びましょう。
もし今、地震が起きたら (命を守る備えと退避行動)	19分	2011	東日本大震災を経験した後に検証された新しい避難行動から、地震の心得と備えについて考えましょう。
津波・命を守る心構え (3. 11 東日本大震災から学ぶ)	20分	2011	津波に対する正しい知識と正しい行動について、東日本大震災の事例から命を守る大切さを学びましょう。
津波からにげる (小学生向け)	17分	2012	実際の釜石市の小学生避難行動や津波に関するクイズから、どのような行動が正しいかを学びましょう。
地震や津波で死なないために (心に刻む5つのこと)	15分	2012	地震・津波についてのメカニズムとその対処法を事例の中で、具体的な避難方法を考えましょう。
ナンデくんと学ぶ 地震と津波を知ろう (じぶんの命を守るために ※小学生向け)	16分	2012	地震と津波が起こるメカニズム、緊急地震速報の仕組み、発災時の行動を学ぶ内容です。
自分の命は自分で守る (津波災害への備え)	96分	2013	東日本大震災における津波映像から津波現象の理解と被害軽減を学ぶ目的の内容です。
まず命を守る備え (集合住宅・マンションの防災対策)	22分	2013	集合住宅・マンションに特化した防災対策や近隣の関係性を事例を交えて学ぶことができます。
災害時要援護者の支援 (ともに生きのびるための自助・共助)	17分	2014	日頃からの要援護者の自助と支援者の共助を事例を通して理解を深めましょう。
避難所の開設・運営 (その時、皆さんの力が必要です)	17分	2014	避難所の開設・運営、地域の方の役割などの流れを実例を見ながら学習する内容です。
親子で一緒に防災計画・防災訓練 (小学生・保護者向け)	24分	2014	東日本大震災の事例を交え、親子で日頃から出来る取り組みを紹介する内容です。
命を守れますか？地しんのときつ波のとき (小学生中高学年向け)	21分	2015	緊急地震速報の仕組みやその時の対応方法などを学ぶ内容です。
Be Alive-生きる 首都直下マグニチュード7.3	19分		首都直下地震が発生し、主人公が被災地で強く生きる姿をドラマにして、自助・共助の大切さを伝える。
FIRE VOLUNTEER	27分	2008	あるサラリーマンが消防団に入団するストーリー構成。ストーリーを通じて、消防団の活動などを紹介。
停電シュミレーション	20分	2014	在宅人工呼吸器を付けた方を取り上げ、停電時の行動について学べる内容。

タイトル (サブタイトル)	時間	製作年	内容
テレビカメラが見た東日本大震災	105分	2012	東日本大震災の映像を紹介。衝撃的な映像から震災の怖さを学べる内容。
幸せ運ぼう	25分	2008	阪神淡路大震災から、震災時に対する教訓を学ぶ。
心ひとつに	106分	2012	東日本大震災での自衛隊活動を紹介。活動開始から任務終了までを紹介する。
The Lights Buned On (英語版) ※音声日本語で、字幕が英語	45分	2014	東日本大震災で被災した医師の話を中心に、「震災前に何ができたか」について学べる内容。
心肺蘇生法とAEDの使用手順	44分	2007	心肺蘇生法とAED訓練について学ぶことができる。
震災時の業務継続	34分	2011	震災時における業務継続(BCP)について紹介する。
東日本大震災復興支援記録	43分	2013	東日本大震災の復興についてのドキュメンタリー。
国民保護図上訓練	70分		国民保護についての図上訓練について解説する。
命と事業を守れ!	22分	2013	震災時における業務継続(BCP)について紹介する。
がんばってます自主防災	25分	2010	地域の自主防災活動について、地域目線で重要ポイントを説明する。
大地震発生	18分	2011	東日本大震災で被災者の体験から「耐震補強・危機意識助成・コミュニティ活動活性化など」の重要性を学ぶことができる。
心肺蘇生法	25分	2008	心肺蘇生法について、実際の行動(AED使用方法など)、様々な状況での対応を学ぶことができる。
地域が主役 避難所の開設と運営のしかた	24分	2017	避難所の開設・運営について、避難所のトイレ事情や女性に対する問題にも触れながら解説する。
君の命を守りたい	115分	2017	自助・共助の取り組みについて、各自治体の活動を紹介しながら伝える。
あなたはそのときどうする? 大雨や台風から命を守る ※大人用と子ども用があり	38分 ※大人	2018	中学生以上(大人向け)都市型水害や土砂災害の脅威など、水害リスク全般について啓発する。
	26分 ※子供	2018	小学生(子ども向け)都市型水害や土砂災害の脅威など、クイズ形式で学習しながら啓発する。
地震・水害から命を守る。 生き抜くための自助・共助	24分	2019	災害に遭遇する家族の様子をドラマで描き、ドラマを通じて地震、風水害時の自助・共助について啓発する。

【アニメ】

タイトル (サブタイトル)	時間	製作年	内容
あさりちゃんと学ぶ 地震への備え	10分	2006	家具転倒防止や避難地図の作成等について小学生向けの内容です。
孫悟空の火の用心	12分	2012	火災の恐ろしさをクイズを交えて学ぶ小学生向けの内容です。
むしむし村の防災訓練 (じしんがきたらどうする?)	12分	2014	地震が起きた時の行動や避難の仕方を学ぶ幼児・小学生低学年向けの内容です。
もしものときにできること ぐらぐらどーん!	32分	2013	災害や事故、犯罪など身近に潜む危険について知ることができる幼児・小学生低学年向けの内容です。

4 地域や各家庭への助成

防災資器材整備助成金

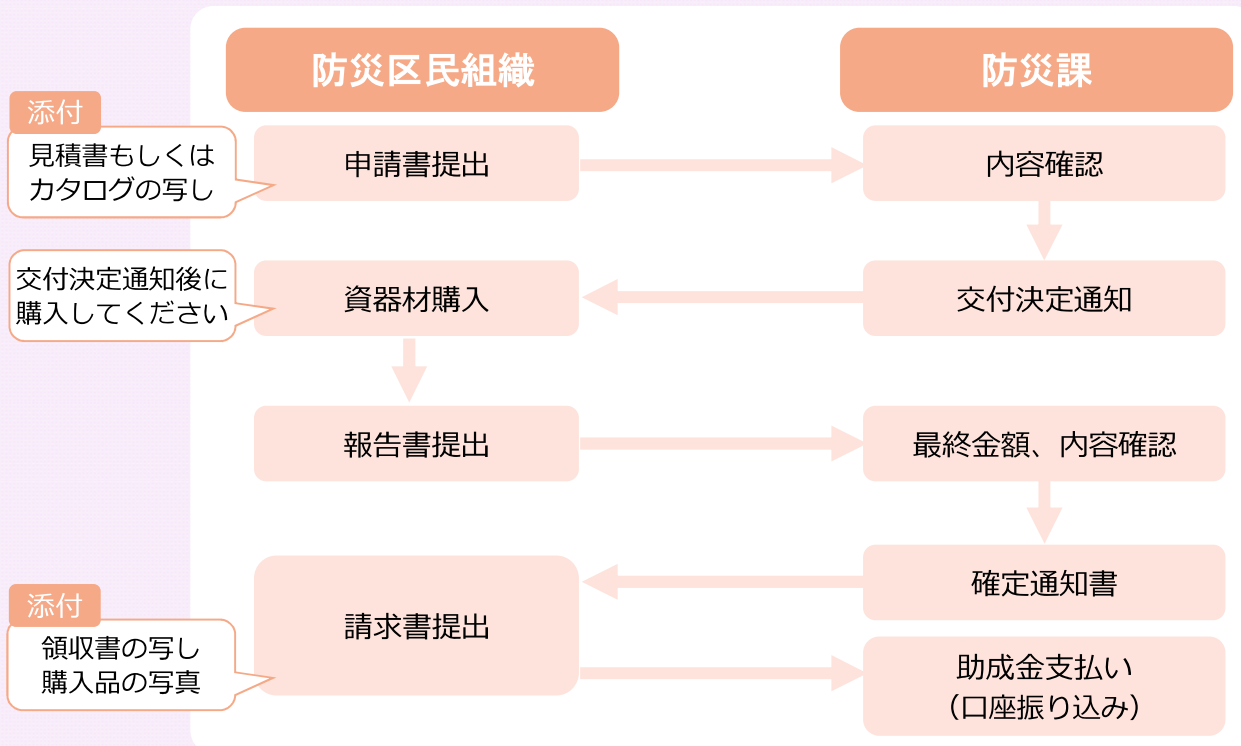
- 地域毎の様々な特性に応じた防災資器材を充実させていただくための助成金を、各防災区民組織に交付しています。
- 助成を受けるためには、資器材の購入前に申請が必要です。

【対象となる防災資器材例】

区分	防災資器材
初期消火	スタンドパイプ、街かど消火ハリアー
備蓄関係	保存水、備蓄食料、簡易トイレ、物置
身体防護	ヘルメット
災害時活動拠点用	テント、発電機、投光機、組織用救急箱
情報伝達	ハンズフリー拡声器、トランシーバー
避難誘導	リヤカー、車いす
給食給水	防災用かまどセット

※一部対象とならない資器材もあります。詳細は防災課までご確認ください。

【手続きの流れ】



防災区民組織育成助成金

- 上記助成金以外に、世帯数やポンプ隊の有無、訓練参加人員の集計をもとに、「防災区民組織育成助成金」として、各防災区民組織へ助成金を交付しています。
- 「品川区町会・自治体に対する助成金（環境整備・防災）」の中に含まれる形で交付しています。



防災用品あっせん

簡易トイレ、保存水、アルファ化米などの購入をあっせんします。
対象の用品一覧は、地域センターで配布している他、区 HP からダウンロードできます。

消火器の購入・薬剤詰替あっせん

家庭用消火器の購入、薬剤詰替のあっせんをします。

防災課 3-5742-6696 3777-1181

感震ブレーカーの設置助成

木造密集地域のうち、都が指定する不燃化特区にお住まいの方に対して、感震ブレーカー設置にかかる費用の一部を助成します

防災課 3-5742-6696 3777-1181

家具転倒防止器具取付助成

家具転倒防止器具の取付事業者の紹介および取付費用の助成をします。

住宅課 3-5742-9172 5742-6963

高齢者等の家具転倒防止器具の購入および取付助成

65 歳以上の高齢者世帯または要介護者・障害者の世帯等を対象に、家具転倒防止器具の購入費用と取付費用の助成をします。

高齢者地域支援課 3-5742-9172 5742-6963

東京都の助成…地域の底力発展事業助成

地域活動の担い手である町会・自治会が行う地域の課題を解決するための取組みを推進し、「地域力」の向上を図るための事業です。

<p>〈防災に関する対象事業〉 防災訓練、防災マニュアルを活用した訓練など</p>	<p>〈手続き〉 (1) 事前相談 申請書類の案を作成し、都に FAX またはメールで送付 都から連絡→事前相談実施 (2) 原本の提出 事前相談後、必要書類を郵送で提出</p>
---	---

町会・自治会運営事務サポート事業

町会・自治会の運営に関する書類や、地域の底力発展事業助成をはじめとした各種補助金申請書類の作成を支援しています。

地域活動課 3-5742-6690